



小平瀨天満宮で放水訓練を行う参加者

火災から貴重な文化財を守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための文化財防火デー火災防御訓練は1月21日、小平瀨地区の小平瀨天満宮で行われました。訓練には、消防団や消防署、地域住民ら約100人が参加し、文化財の搬出や初期消火、放水などの訓練を実施しました。訓練終了後、前後公町長は「国民共有の貴重な財産である文化財を火災から守るため、初期消火と関係機関の連携が重要です。今後も、災害に対する盤石な体制づくりをお願いします」と講評を述べました。

作品展受賞者をたたえる

高齢者作品展表彰式

高齢者作品展表彰式は12月22日、町役場で行われました。作品展には、個人48人と6施設、2団体から合計82点の応募がありました。審査の結果、小板橋静枝さん(木地小屋)の「草履」が最優秀賞を受賞し、前後公町長が小板橋さんに表彰状と記念品を手渡しました。

応募作品は、11月4、5の両日、学びいなかで開かれた学びいなか秋祭りで展示され、来場者の目を楽しませました。



前後町長から表彰状を受ける小板橋さん(中央)

雪下キャベツの魅力を紹介

台湾、香港メディア関係者が本町を視察

台湾と香港の人気ブロガーなどのメディア関係者は1月17日、本町を訪れ、幸野地区の畑で雪下キャベツの収穫体験を行いました。現在、福島県産の農産物は台湾と香港では輸入規制の対象となっており、本県の農産物の安全安心の取り組みや食材の魅力を広く発信するために福島県が企画しました。猪苗代キャベツ研究会の渡部雅幸さんは「猪苗代産の農産物の魅力を知ってもらえれば」と話しました。



雪下キャベツの収穫体験を行う台湾、香港の関係者ら

町政発展を願い門松を制作

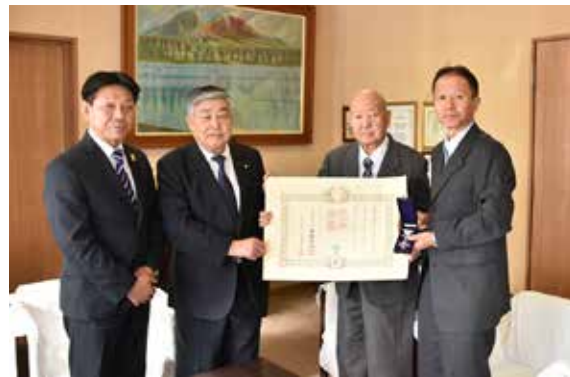
町シルバー人材センターが門松を寄贈

町シルバー人材センターは12月27日、町に手作りの門松を寄贈しました。町シルバー人材センターでは、町政発展と町民の幸せを願い、毎年寄贈しており、今回で17回目となりました。門松は高さ約60センチで、会員の佐藤正巳さんと小檜山光男さんが中心となって制作しました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、増子恒蔵理事長が前後公町長に門松を贈りました。



左から小檜山さん、前後町長、増子理事長、佐藤さん



勲記と勲章の伝達を受ける渡部さん(右から2人目)

渡部幸久さんに栄典伝達

瑞宝双光章叙勲伝達式

渡部幸久さん(都沢)への高齢者叙勲伝達式は12月28日、町役場で行われ、前後公町長が渡部さんに瑞宝双光章の勲記と勲章を手渡しました。渡部さんは、昭和25年に福島師範学校を卒業後教員となり、翁島小学校、猪苗代小学校などの校長を歴任。40年にわたり学校教育の振興に尽力されました。

渡部さんは「受章は多年にわたって皆さんにご指導いただいたおかげです」と感謝の言葉を述べました。

縁起物などを求めてにぎわう

新春恒例の十三日市が開催される

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。オープニングセレモニーでは、一ノ瀬正一商工会長らがあいさつし、神事を執り行った後、鏡開き猪苗代芸能保存会による太鼓の演奏が行われたほか、先着150人に福袋がプレゼントされました。

会場となった通りには、起き上がり小法師やだるまなどの縁起物や飲食物の露店が並び、大勢の買い物客でにぎわいました。



起き上がり小法師などの縁起物を買求める来場者

新春を祝い初釜茶会

青木宗寛社中が初釜茶会を開催

茶道裏千家淡交会・青木宗寛社中は1月21日、学びいなかで初釜茶会を開きました。青木社中では、毎年新春を祝い初釜茶会を開催しています。会場となった学びいなかの和室には、短冊や水仙の花などが飾られ、新春を迎えるにふさわしい厳かな雰囲気になりました。茶会では、青木社中の青木宗寛こと青木寛美さんらが見事なお点前を披露。会場を訪れた人たちは、心行くまで茶の湯を楽しみました。



厳かな雰囲気の中で開かれた初釜茶会

1年の無火災・無災害を祈願

消防団幹部らが消防出初式を挙行

町消防出初式は1月6日、町内の諏訪神社で行われ、関係団体や消防団幹部など約50人が出席し、今年1年の無火災、無災害を祈願して玉串をささげました。

神事が執り行われた後、前後公町長が「消防団の装備の改善などを図り、より強固な消防体制づくりに努めます」とあいさつ。五十嵐幸夫団長が「地域住民の大切な生命、財産を守るため、予防消防に努めていきます」と述べました。



玉串をささげる五十嵐団長